

花南地区の子どもを育てる「学校支援会議」 (平成19年5月24日発足)

(目的) 南城小・中学校の教育活動を理解し、学校・家庭・地域がそれぞれの機能を発揮して子ども達の健全育成を図るため、学校教育の相談にのり支援を行う。

(構成員) 花南地区教育振興協議会長、花南行政区区長会長、花南地区老人クラブ会長、花南地区主任児童委員(2)、市防犯協会花南支部長、南城小学校PTA会長、南城中学校PTA会長、花南地区の有識者(1) 計9名 + 南城小・中学校(各校長、教頭、教務主任)6名

(開催) 会議は年3回(5月、11月、2月)の予定。

今回の主な内容

南城は小・中連携を大切にします!



南城小学校・中学校の学校経営概要(19年度の重点)の説明

(小学校) 1 『心を開くあいさつ 心をみがく清掃 心をたがやす読書』を基に、豊かな心の育成
2 教科の基礎基本の定着を図る指導法の改善 3 信頼される学校づくりの推進

(中学校) 1 基礎学力を定着させる(①特に英語に力を入れる ②南中「学びフェスト」の作成)
2 豊かな心を育む 3 キャリア教育(進路指導)を充実する
4 開かれた学校づくりをすすめる

話し合われたことの概要



(あいさつについて) ■南城の子ども達は昔から挨拶は良かった。しかし、高校生から上が良くないのでは。■学校にまかせて学校だけで指導するから全体が良くならない。家庭でも指導するようお願いする必要がある。また、地域の役割も大きい。■小学生は挨拶しているが声が小さい。挨拶運動に取り組中。■(挨拶を返す)大人の反応が良くない、足りないと思う。大人の方にも責任がある。■中学生が一番よいと思うが、学校内で挨拶ができて地域に出ると弱い面がある。取り組んですぐに効果が出なくても、めげないでそれぞれの立場で進めましょう。

(図書館の書籍について) ■学校の図書館の現状は国の基準よりかなり低いのが現状。■PTAで1人1冊の献本運動で成果が上がった学校の例が報告されている。ただし2年間。■学校で古い、汚れた本は廃棄するのでなかなか冊数は増えない。小学校では毎年500冊ずつ購入しないと基準には達しない。予算が厳しい。

(学習面について) ■子どもの学習意欲はある。■一人になっても勉強する子にして欲しい。勉強方法を教えて。■「学びフェスト」が数値の入った目標で示された点を評価したい。と同時に、途中チェックをして(11月)結果も示してほしい。目標に達成しない場合でも一生懸命努力したことが分かるようにすれば保護者も納得すると思う。 ※(その他:子どもの思考力、安全安心の花南地域づくり)